

# 2017年世界大会成功めざす活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031  
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：[antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com)

2017年  
7月12日発行

## 国連から中満上級代表が参加決定!

### 長崎（8/7～9）で核兵器禁止条約の意義を学ぼう!



原水爆禁止 2017年世界大会に、中満泉国連軍縮問題担当上級代表（左写真）が参加することが決まりました。8月7日の世界大会—長崎・開会総会で発言します。7月7日に採択された核兵器禁止条約の意義や今後の課題、市民社会の役割などについて日本語で発言する予定です。

中満上級代表は、6月16日、国連本部で開かれていた核兵器禁止条約交渉会議で、エレン・ホワイト同会議議長（コスタリカ）とともに296万余の「ヒバクシャ国際署名」を署名連絡会の代表である被爆者から受け取りました。

国連軍縮問題担当上級代表が世界大会に参加するのは、2008年にセルジオ・ドゥアルテ氏から始まって4代連続となります。核兵器禁止条約が採択された歴史的情勢で開かれる大会にふさわしく、国連や各国政府と市民社会の共同の発展が期待されます。長崎大会への代表派遣を強めましょう。

## 条約交渉をリードした政府代表が続々参加 メキシコ、オーストリア、キューバの政府代表と語り合おう



2017年世界大会には、国連・核兵器禁止条約交渉会議での議論をリードした国から3名の政府代表の参加が決まっています。

核兵器使用の非人道性から禁止・廃絶へ向かう人道的アプローチを主導してきたメキシコとオーストリアの代表が、7日の開会総会と8日のフォーラムに参加、発言します。メキシコからは**カルロス・アルマーダー駐日大使**（左写真）が、オーストリアからは**マルティン・クリューゲル軍縮局次長・公使**が参加します。

長年にわたり核兵器禁止・廃絶の実現へ行動してきた非同盟運動からは、キューバの**マイレン・リベロ駐日臨時代理大使**が、9日のナガサキデー集会に参加、発言します。キューバは、条約の禁止項目に核兵器使用の威嚇も入れるよう発言するなど、交渉会議で役割を發揮しました。